



避難時の注意点

町からの避難勧告や避難指示（緊急）があった場合には、洪水浸水想定区域図に掲載してある避難所に避難しましょう。なお、避難所への避難が困難な場合又は雨の降り方や浸水状況により身の危険を感じた場合には、近くの堅牢な2階建て以上の建物に自主的に避難しましょう。

お年寄りなどの避難にご協力を

お年寄りや子供、病気の方は、早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、病気の人などの避難に協力しましょう。



足元に注意

冠水している道では、水路・田畑との境が分からなくなります。杖のような棒を持って、足元が大丈夫か確認しながら歩きましょう。



車での避難は控えて

自動車での避難は緊急車両の通行の妨げになりますので、特別の場合を除きやめましょう。

避難時には水の流れにご注意

洪水による水の流れは、場所によっては相当に速いことが予想されます。避難時には、その水流の速さに十分注意するとともに、2人以上での行動を心掛けましょう。

避難するときの心掛け

避難するときは、2人以上ではぐれないようにロープで結び、特に子どもからは目を離さず、長い棒などを杖代わりにして水面下を確認しながら歩きましょう。

地下施設への浸水にも注意

豪雨時の地下室利用は危険です。また、半地下車庫の浸水被害も増えています。日頃から排水設備(ポンプ)の点検や、土のう、止水板を準備しておきましょう。

正確な情報収集を

ラジオ・テレビからの水防情報、気象情報には十分注意しましょう。

